

# 水質事故に備え合同訓練を実施します。

## 斐伊川水系水濁協「水質事故部会」を開催！

### 記者発表資料

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会（会長：国土交通省出雲河川事務所長 渡邊茂）は、国土交通省、鳥取・島根両県、流域市町や関係機関で組織し、斐伊川水系の水質保全の取り組みや水質事故の抑止・対策などの活動を行っています。

斐伊川水系においては、平成16年度以降、水質事故が月平均5件以上発生し多発傾向が続いていますが、これから冬期を迎え暖房用燃料の取扱いや車両のスリップ事故なども増えて水質事故へつながることが心配されるところです。

今回は、協議会において特に水質事故への対応を担当する「水質事故部会」を開催し、関係機関相互の連絡調整や広報などについて協議するとともに、会議後、松江市北公園を流れる京橋川を会場に、油の流出を想定したオイルフェンス等の展張訓練等を実施します。

#### 開催日時・場所

平成19年11月7日（水）

水質事故部会（13：30～15：00）

くにびきメッセ 小ホール 松江市学園南1丁目2-1

水質事故対策訓練（15：00～16：00）

松江市北公園内 京橋川（出会橋～県道麦島橋）

（概要については別紙実施要領をご覧ください。）

#### 同時発表記者クラブ名

島根県政記者クラブ・出雲市政記者クラブ・米子市政記者クラブ

#### 問い合わせ先

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会  
（事務局：国土交通省 出雲河川事務所 河川管理課）

河川管理課長 足立 晃  
建設専門官 錦 織 正

TEL（0853）21-1850（代表）

# 平成19年度 水質事故対策訓練

## 実施要領

1. 目的 河川等の公共用水域で水質事故が発生した場合、その被害を最小限に食い止めるためには関係機関が密接な連携のもと迅速かつ確な対策を行わなければならない。

そのためには、日頃から関係機関相互の緊密な情報伝達体制を構築しておくとともに、水質事故処理に関する知識や実践的現場対応能力を身につけておくことが必要である。

国土交通省、県、市町及び関係機関で構成する「斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会水質事故部会」は、今後の水質事故対応に万全を期すため水質事故対策技術の習得・錬磨を図ることを目的に水質事故対策訓練を実施するものである。
2. 主催 斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会
3. 日時 平成19年11月7日(水曜日) 15:00～16:00
4. 場所 松江市学園南1丁目 松江市北公園内 京橋川(出会橋～県道麦島橋)
5. 参加機関 国土交通省 出雲河川事務所、斐伊川神戸川総合開発工事事務所  
海上保安庁 境海上保安部  
鳥取県 防災課、水・大気環境課、河川課  
西部総合事務所 県土整備局、生活環境局  
鳥取県警 生活環境課、米子警察署、境港警察署  
島根県 総務部防災グループ、環境政策課、河川課、下水道推進課  
宍道湖流域下水道管理事務所、  
松江、雲南、出雲各県土整備事務所及び各土木事業所  
松江、木次、出雲各健康福祉センター  
島根県警 生活保安課、松江、安来、雲南、出雲各警察署  
市町 米子市、境港市  
松江市、出雲市、大田市、安来市、雲南市  
東出雲町、奥出雲町、飯南町、斐川町  
消防 鳥取県西部広域行政管理組合消防局  
松江市、安来市、出雲市、雲南各消防本部  
その他 島根県 企業局 東部事務所  
斐川宍道水道企業団  
西日本高速道路(株)中国支社 松江工事事務所

6 . 訓練内容 京橋川への油流出を想定したオイルフェンス等の実地展張訓練

・班編制

第1班（松江市）

第2班（松江市消防本部）

第3班（島根県松江県土整備事務所）

第4班（国土交通省）

・渡河方法及び使用資材

第1班 橋梁を渡河 + 万国旗型吸着マット

第2班 船外機付ボート + オイルフェンス

救命索発射銃 + チューブ型吸着フェンス

第3班 手漕ぎボート +

チューブ型吸着フェンス（スカート付）

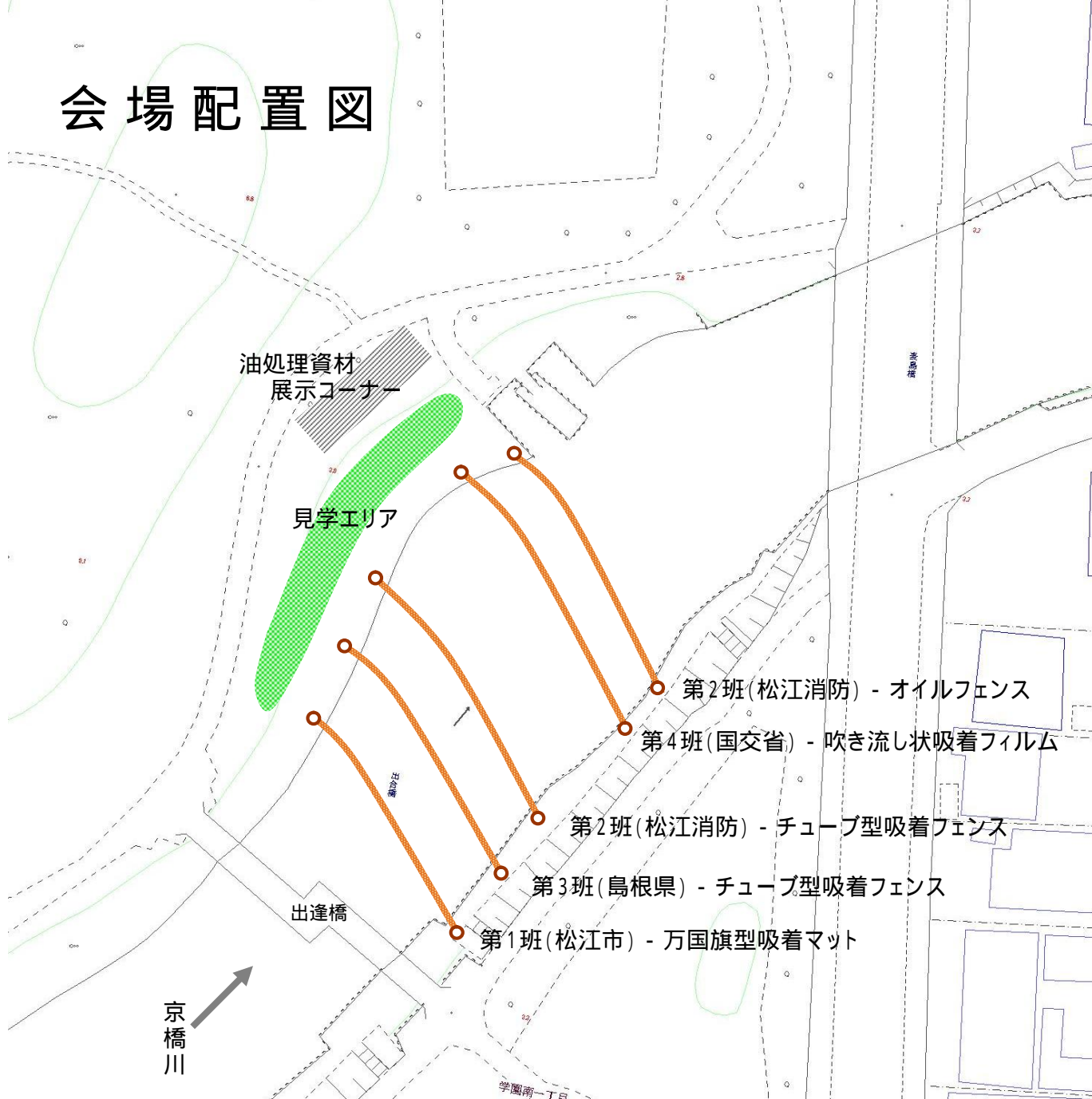
第4班 投石による渡河 + 吹き流し状吸着フィルム

メーカー代理店による事故処理資材の展示及びデモンストレーション

7 . 訓練日程	15:00	開会・訓練概要の説明
	15:05～15:45	実地訓練と解説
	15:45～16:00	処理資材の学習
	16:00	閉会

8 . 会場の配置 別紙「会場配置図」のとおり

# 会場配置図



# 展張手順図



救命索発射銃発射時、  
投石時は進入禁止

第2班(松江消防) - オイルフェンス  
船外機付ボートを右岸に接岸する。  
ボートでオイルフェンスを引いて対岸に展張する。  
両端を杭に結束し固定する。

第4班(国交省) - 吹き流し状吸着フィルム  
リードロープを結束した石を対岸に投げ川を渡す。  
リードロープで吹き流し状吸着フィルムを引いて展張する。  
両端を杭に結束し固定する。

第2班(松江消防) - チューブ型吸着フェンス  
救命索発射銃でリードロープを対岸に渡す。  
リードロープでチューブ型吸着マットを引いて展張する。  
両端を杭に結束し固定する。

第3班(島根県) - チューブ型吸着フェンス  
手漕ぎボートでチューブ型吸着マットを引いて展張する。  
両端を杭に結束し固定する。

第1班(松江市) - 万国旗型吸着マット  
出合橋を渡ってリードロープを対岸に渡す。  
リードロープで万国旗型吸着マットを引いて展張する。  
両端を杭に結束し固定する。

京橋川

## 展張順序

上流	下流
第1班(松江市)	万国旗型吸着マット
第3班(島根県)	チューブ型吸着フェンス(スカート付)
第2班(松江消防)	チューブ型吸着フェンス
第4班(国交省)	吹き流し状吸着フィルム
第2班(松江消防)	オイルフェンス

## 準備資材

- 杭: 2本、カケヤ: 2丁、土のう: 4~6個 × 5組
  - リードロープ(PPひもなど細く丈夫なもの、30m~50m) 2巻、 鎌 2丁
  - 結束用ロープ(綿・ナイロンロープなど) 2巻 × 5組
  - ゴムボート、救命胴衣
  - ゴムボート(船外機付)、救命胴衣
  - 救命索発射銃 1丁
  - ハンドマイク
  - 万国旗型吸着マット 20m
  - チューブ型吸着フェンス(スカート付) 20m
  - チューブ型吸着フェンス 20m
  - 吹き流し状吸着フィルム 20m
  - オイルフェンス 20m
- 松江市消防本部  
松江市消防本部
- エコパッドEF-50(天然繊維) 5m × 4本
  - タフネルTF-200(合成繊維) 5m × 4本
  - スマレイ7510(活性炭) 10m × 2本
  - Z-1(極薄油膜除去用) 10m × 2本
  - OK-200型 20m × 1本